ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市消防団第13分団3部器具置場改築地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	4	0	3	1	2	8	0	0	0

シートNo.

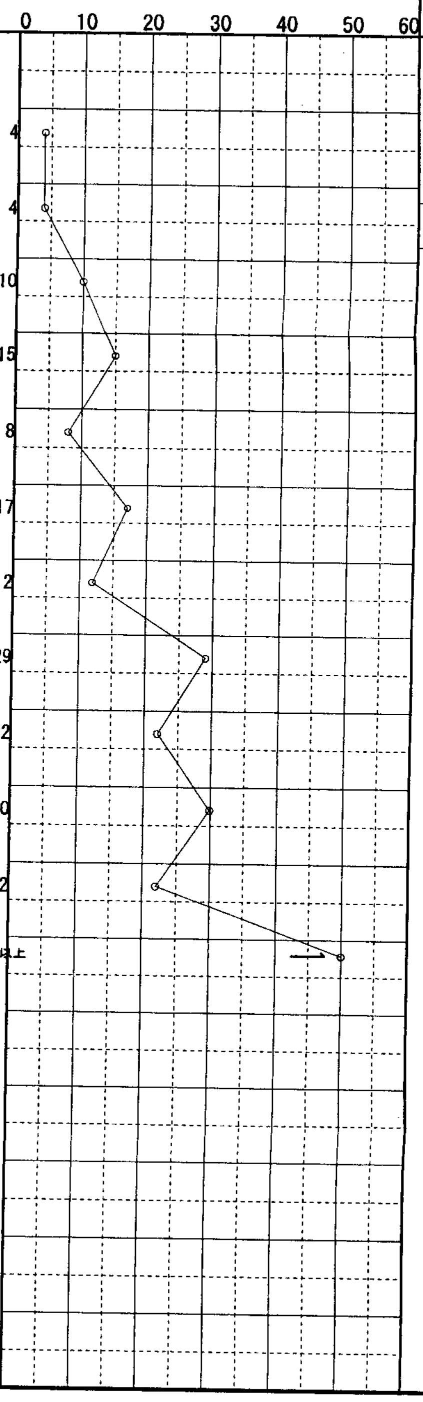
ボーリング名	B-1	調査位置	千葉市若葉区富田町669-1
北緯	35° 36' 15.1000"	東経	140° 13' 57.3000"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課	調査期間	平成22年 6月17日～平成22年 6月18日
調査業者名		主任技師	
現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者			
孔口標高	KBM 10.03m	総掘進長	12.28m
角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	0° 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°		
使用機種　試錐機	DOD-100	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	NFD-10	ポンプ	カノーV-6

標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
9.63	0.40	0.40		盛土	褐灰			粘土主体・コンクリート片・礫・玉石等少量混入
9.23	0.40	0.80		有機質ローム	暗褐			黒ボク、軽石少量混入
7.33	1.90	2.70		ローム	茶褐		中位	上層との境界漸移しやや不明瞭、軽石、スコリア粒多量混入 下部にて少量の細砂混入
3.23	4.10	6.80		粘土混り細砂	黄褐	緩い～中ぐらい		3.0m迄無水掘り掘削、地下水認められず 砂粒子均一、含水少位、均質に粘土混入 4.0m付近より色調は茶褐色、酸化する 5.0mにてやや不規則に粘土混る、所〃シーム状に粘土挟む 6.0mよりブロック状あるいは不均質に固結化呈す、砂粒子均一、微細砂、茶褐灰
0.13	3.10	9.90		細砂	黄褐灰	中ぐらい		砂粒子均一、所〃粗砂、中砂混在 上層との境界不明瞭で極少量の細粒土含有 8.0mより色調暗黄灰、含水多く、所〃高含水 9.0mにて黒色スコリア、ラミナ状に挟む
-1.77	1.90	11.80		砂質粘土	暗黄灰		非常に硬い	砂粒子均一、所〃微砂で半粘性土化呈す、所〃砂分優勢で不規則に混入 固結化呈し、所〃著しく凝固する
-2.25	0.48	12.28		細砂	暗灰	非常に密な		粒子均一、非常に密、固結度強く締まる

孔内水位／測定月日: 6/18 6.95

標準貫入試験

深度 m	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15～1.47	1	2/15	1/7	4/32	4
2.15～2.49	1	1	2/14	4/34	4
3.15～3.45	3	3	4	10/30	10
4.15～4.45	4	5	6	15/30	15
5.15～5.45	2	2	4	8/30	8
6.15～6.45	5	6	6	17/30	17
7.15～7.45	4	4	4	12/30	12
8.15～8.45	9	10	10	29/30	29
9.15～9.45	6	8	8	22/30	22
10.15～10.45	7	10	13	30/30	30
11.15～11.45	5	7	10	22/30	22
12.15～12.28	37	13/3		50/13	50以上



原位置試験

深度 m	試験名及び結果
2.20～2.80	LLT

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験
1.20～2.20	1-T-1	Ⓣ	比重 含水 粒度 一軸 三軸 圧密
3.15～3.45	1-P-1	㊀	比重 含水 粒度
5.15～5.45	1-P-2	㊀	粒度
8.15～8.45	1-P-3	㊀	比重 含水 粒度
10.15～10.45	1-P-4	㊀	粒度

掘進月日: 6/17